

2025中期経営計画

2021年～2025年



東京特殊電線株式会社 2021年6月7日

【目次】

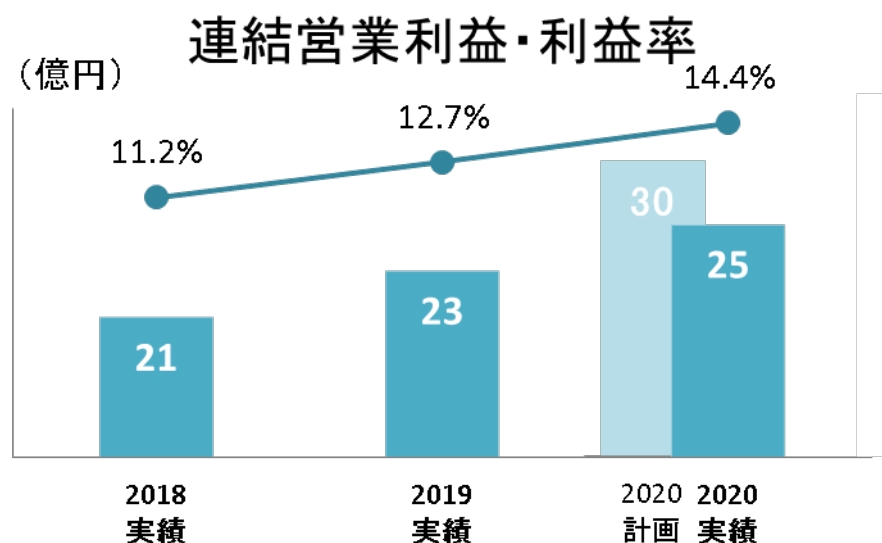
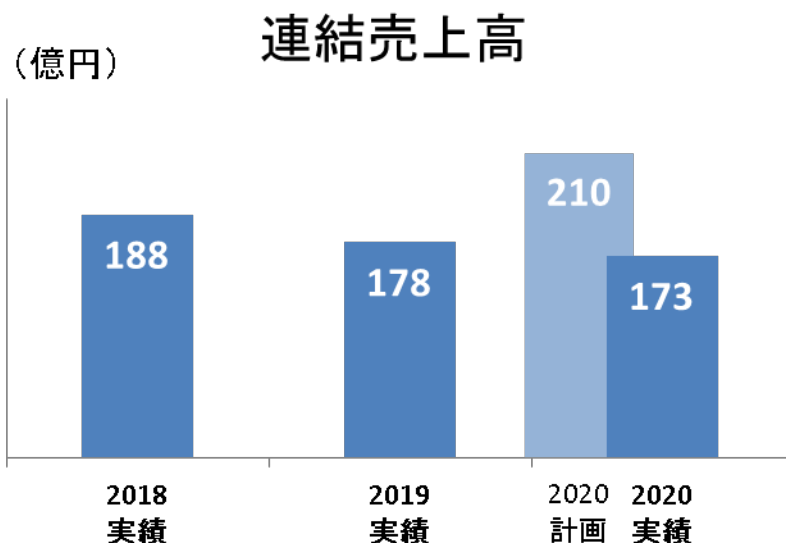
1. 前中期経営計画 振り返り

2. 2025中期経営計画

3. 株主還元の考え方

1. 前中期経営計画 振り返り

着実に増益も、コロナ禍の影響もあり計画未達



利益貢献

5G向けサーバー用などに三層絶縁電線の受注増加
 5G関連など半導体検査装置需要増加でコンタクトプローブの受注増加
 車載IGBT用トランス向け高耐圧複合電線の本格量産開始

未達要因

自動車向けシート用ヒータ線の2020年度上期における受注減少
 高性能同軸ケーブルに対する需要の伸び悩み
 海外子会社(インドネシア、フィリピン)の業績下振れ

1. 前中期経営計画 振り返り

次期中期につながる成長投資、株主還元、ガバナンス体制の見直し

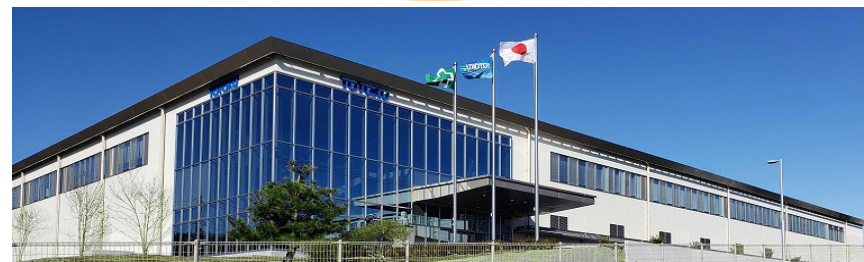
■ 成長投資(増産、生産性、品質向上)

モビリティ市場 向け
シートヒータ線、高耐圧複合電線
基板・半導体検査装置市場 向け
コンタクトプローブ
小型トランス市場 向け
三層絶縁電線

2018-2020

投資総額

46億円



環境関連(廃液処理施設、太陽光発電)

上田事業所リニューアル、新工場建設

■ 財務施策

D/Eレシオ (2017年度) 0.22⇒0.15
自己資本比率 (2017年度) 52.9%⇒60.7%

■ 株主還元

年間配当金 40円⇒60円/株に増配
自己株式取得 59,200株(1.5億円)

■ ガバナンス体制の見直し

監査等委員会設置会社へ移行 ⇒ 独立社外役員比率 50%
報酬委員会、利益相反管理委員会を設置

2.2025中期経営計画

2021-2025

顧客の価値創造
を実現してさらなる成長へ

ESG経営を軸とした
企業体質の強化

2030

環境・社会に貢献する
開発提案型企业へ

顧客・社会のニーズを先取りした
提案、価値創造

2018-2020

事業再編による回復期から
新たな成長軌道へ

収益力の強化
財務体質の改善

2030に向けさらなる飛躍
持続的な成長への課題解決の期間

積極投資による成長の基礎固め

2.2025中期経営計画

**顧客の価値創造のため
環境・社会に貢献する技術・製品を提供し
成長し続ける企業を目指す**

注力市場における 顧客の価値創造

- 顧客の声(VOC)を収集し、拡販活動
- 注力製品の生産体制強化
- 迅速な価値提案

成長・新市場向け 新製品開発

- 将来の成長市場へのアプローチ
- 深化と探索を追求
- 開発提案力の強化

ESG経営の強化

- 環境保全への対応
- 人材育成と活用
- グループ経営体制の構築

2.2025中期経営計画

通信インフラ

市場 動向

- ・ 通信ネットワークは世界的に拡大
- ・ 5G通信が世界標準となり社会に浸透



個別 方針

- 5G市場に高速・高周波・細径の特性を活かした高性能同軸ケーブルを拡販

5G基地局
データセンター
モバイル
ノートパソコン



細径高速伝送要求
安定した高周波特性要求
高効率化、省エネ要求

高性能同軸ケーブル



マイクロ同軸ケーブル
アセンブリ



三層絶縁電線



2.2025中期経営計画

モビリティ

市場 動向

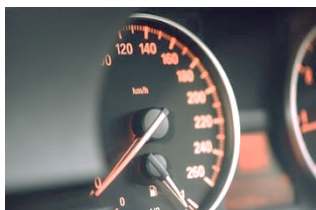
- ・ 世界規模でxEVの需要増加
- ・ コネクテッド化で高速通信需要拡大



個別 方針

- 需要に応じたシートヒータ線の増産投資
- 高性能同軸ケーブルの車載への展開
- 高耐圧複合電線の高電圧車載インバーターへの展開

車載暖房
自動運転
パワートレイン



xEV局所暖房需要増

車載高速通信需要増

車載インバーター需要増

シートヒータ線

高性能同軸ケーブル
マイクロ同軸ケーブル
アセンブリ

高耐圧複合電線



RUOTA

Wavemolle



Flterio

2.2025中期経営計画

小型トランス

市場 動向

- ・ 市場規模は緩やかに成長
- ・ 半導体の高周波化で高効率や省エネ要求増加



個別 方針

- 軽量化が可能な特殊三層絶縁電線を拡販
- 高周波帯域用トランスに低損失三層絶縁電線を提案

サーバー
産業機器
モバイル



高周波化、高効率化要求
小型化、コストダウン要求

軽量化、コストダウン要求

三層絶縁電線

低損失三層絶縁電線



TOTOKUTIW

特殊三層絶縁電線



TOTOKUTIW

2.2025中期経営計画

基板・半導体検査装置

市場 動向

- ・ 半導体需要増加で検査装置市場も拡大
- ・ 半導体の集積度が高まり細径プローブ需要増加



個別 方針

- 微細加工技術で極細径プローブの需要に応える
- 検査装置周りのリード線・接続ケーブルを拡販

検査治具
リード線
接続ケーブル

狭ピッチ化要求
極細径の需要増

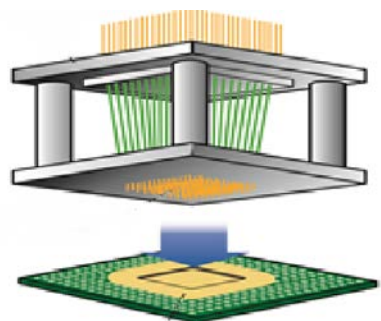
高周波対応要求
細径化、柔軟性要求

コンタクトプローブ

サスペンションワイヤ

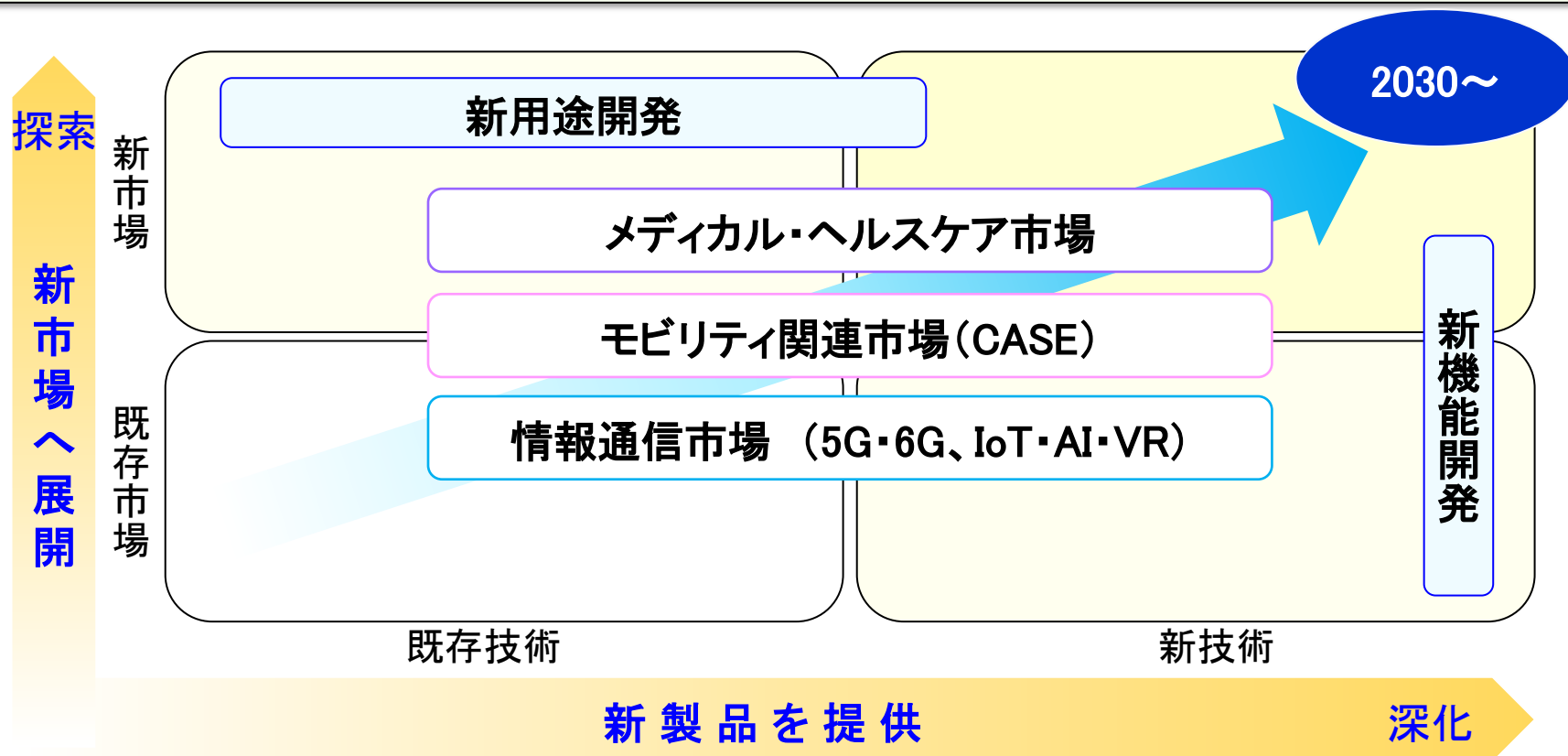
高性能同軸ケーブル

マイクロ同軸ケーブル
アセンブリ



2.2025中期経営計画

将来の成長市場に向けた新機能・新用途開発

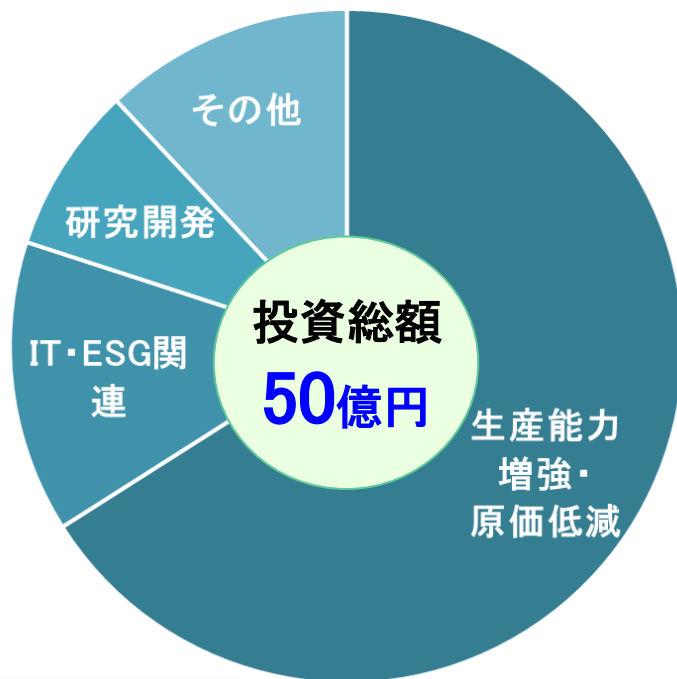


- 技術の深化と市場の探索強化で、新市場・新製品へ展開
- 産学連携により開発スピードの向上
- 研究開発費総額 14億円(2021-2025)

2.2025中期経営計画

適時適切な成長投資による収益の拡大

設備投資 2021-2025年度



■ 注力製品の生産体制強化

通信インフラ市場 向け
高性能同軸ケーブル

モビリティ市場 向け
シートヒータ線
高耐圧複合電線

小型トランス市場 向け
三層絶縁電線

基板・半導体検査装置市場 向け
コンタクトプローブ

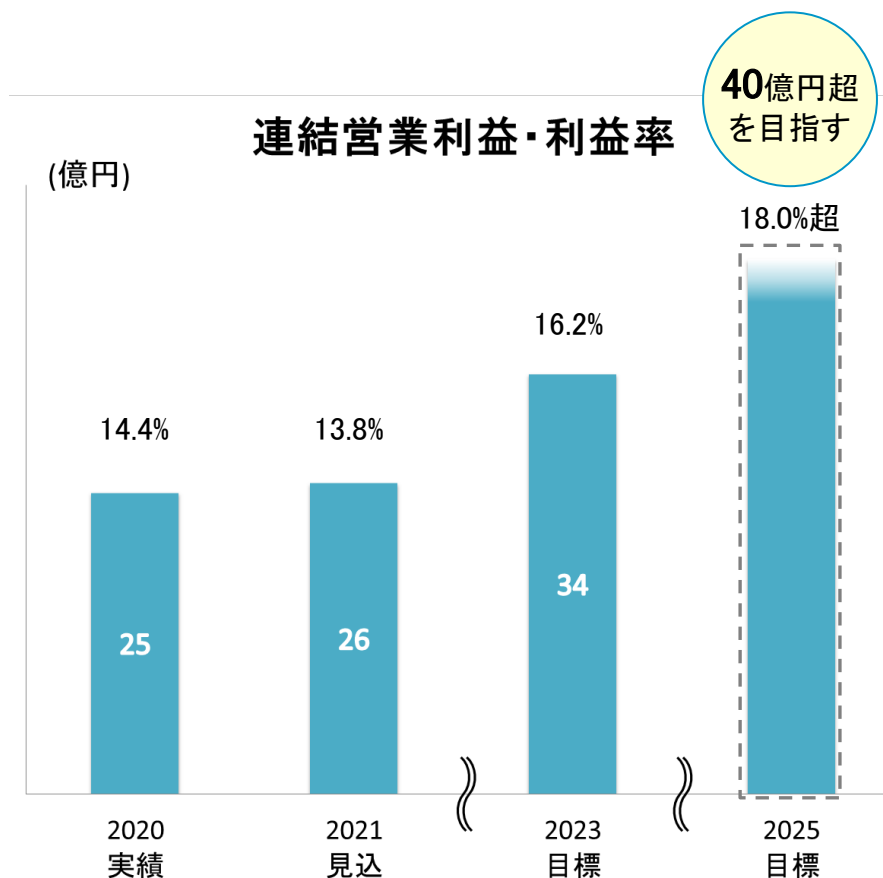
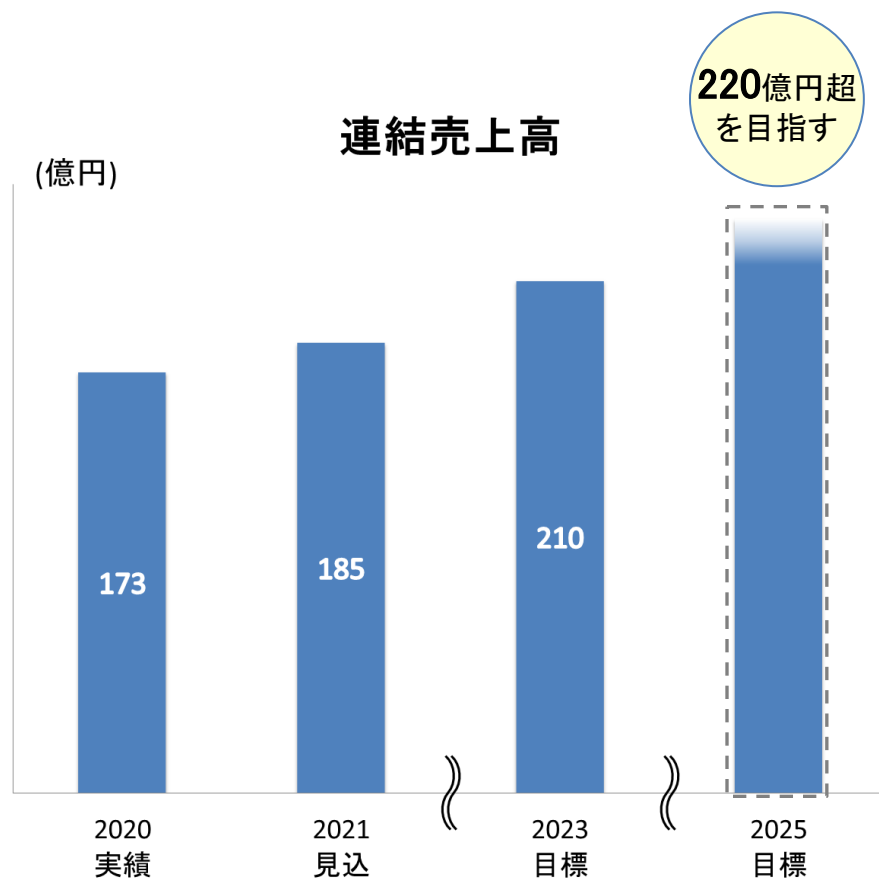
■ IT・ESG関連投資

基幹システム更新
再生可能エネルギー
環境・安全対策



2.2025中期経営計画

注力市場の需要に応え、事業を拡大



ROE : 10 %超

2.2025中期経営計画

ESG経営基盤の強化により中長期的な企業価値向上を目指す

E（環境）

温室効果ガス（GHG）
排出量の低減高効率生産
太陽光発電パネル
設置自然エネルギー
由来の電力利用廃棄物等
総発生量の低減

環境調和製品の開発

温暖化防止・省資源
化製品の開発

S（社会）

人材育成・活用
体制整備
雇用制度の見直し
高年齢者の活用働き方改革
IT環境整備
DXの推進
在宅勤務の制度化拠点地域での
貢献活動

安全衛生活動強化

G（ガバナンス）

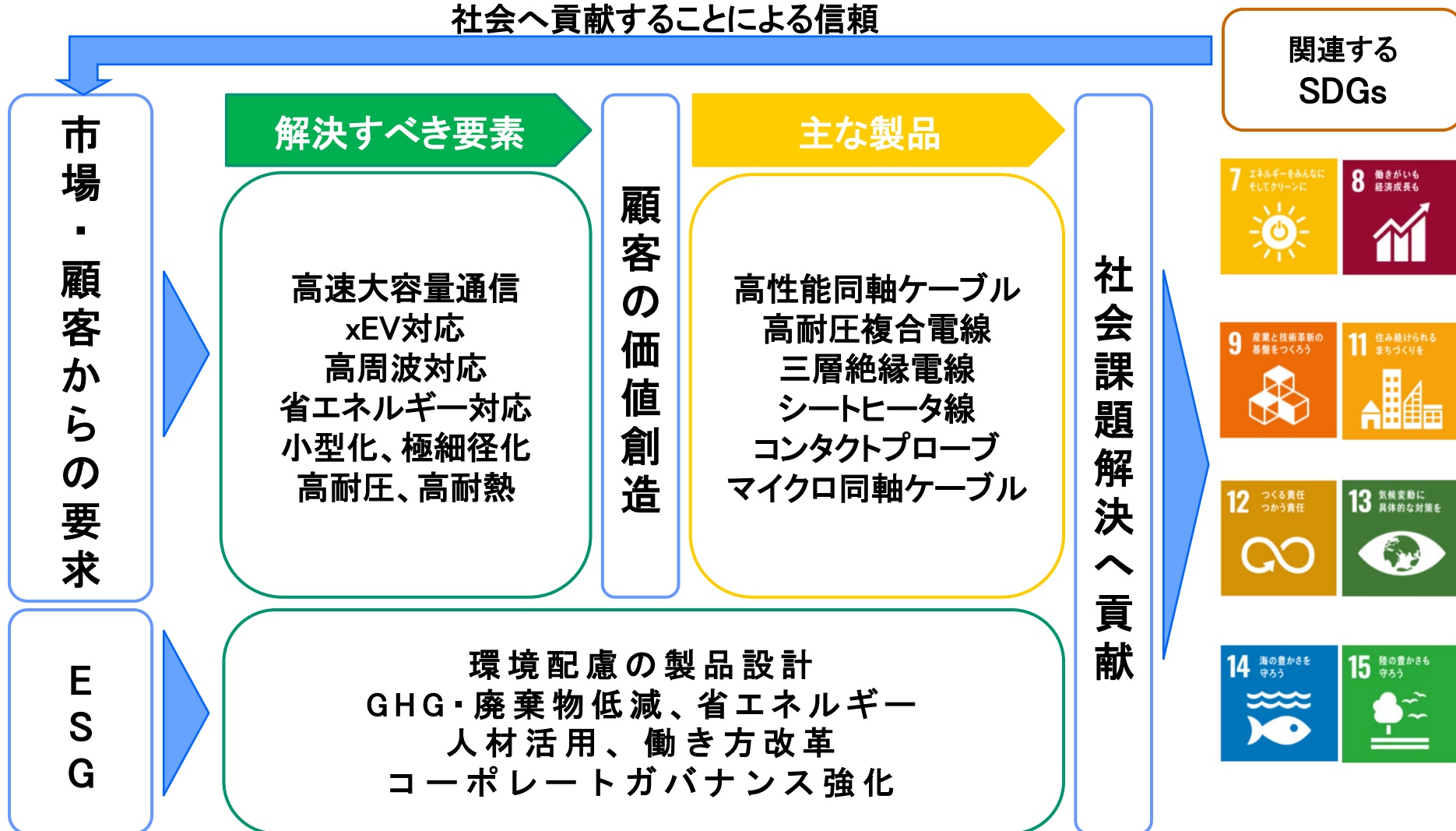
コーポレート
ガバナンス強化
譲渡制限付株式報酬
改正CGコードに対応グループ各社の
ガバナンス強化

リスクマネジメント強化

2.2025中期経営計画

ESG強化と顧客の声に応える事業活動でSDGsに貢献

社会へ貢献することによる信頼

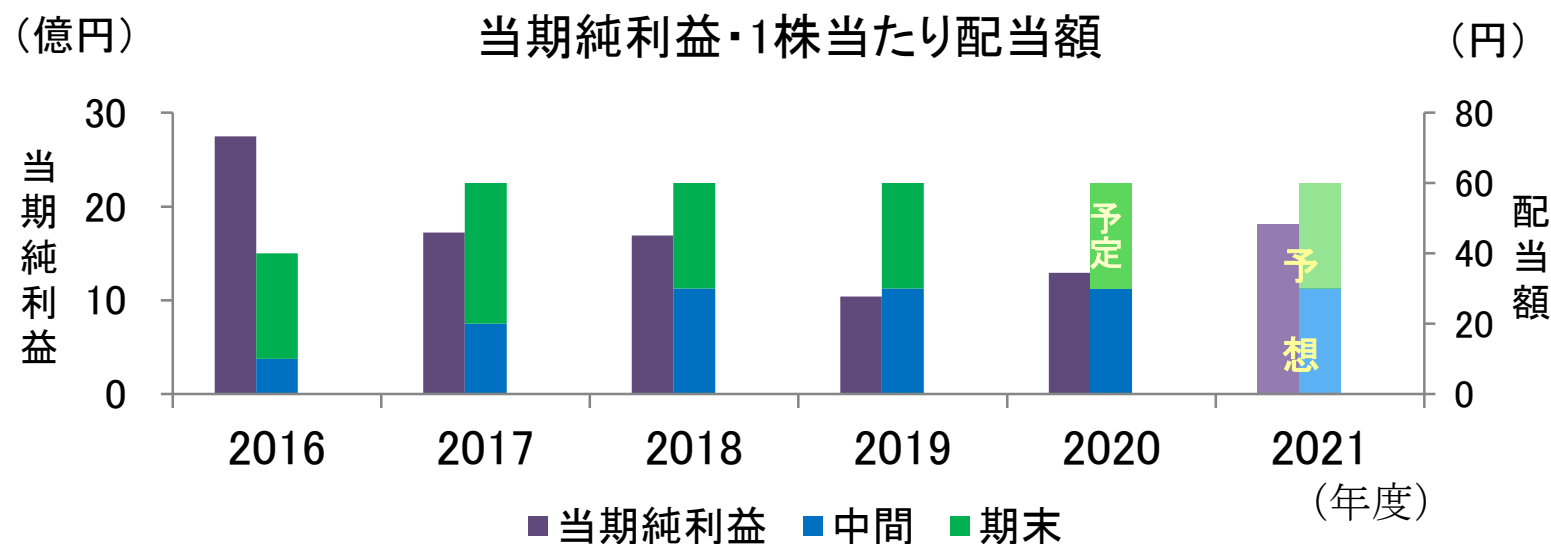


3. 株主還元の方

株主還元を重視し、安定的・継続的配当を実施

基本方針

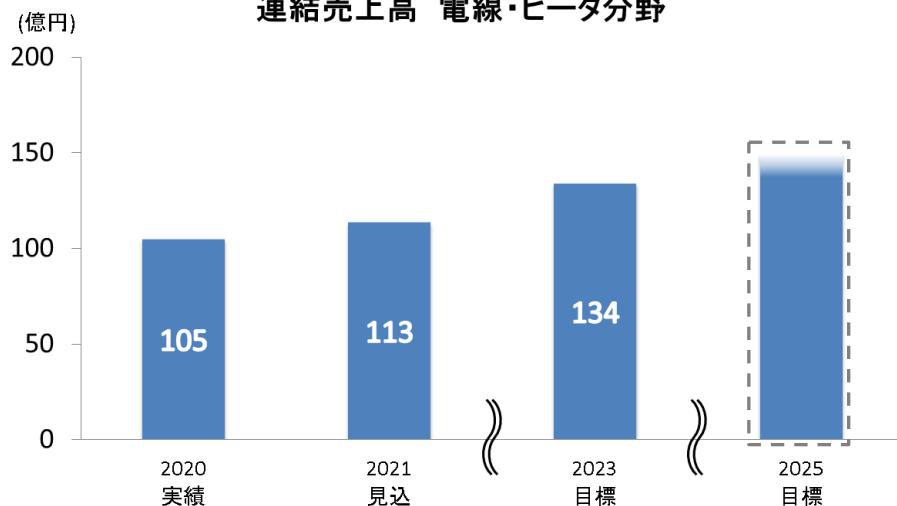
- 安定的、継続的な配当の実施を基本として、株主還元強化策についても検討する



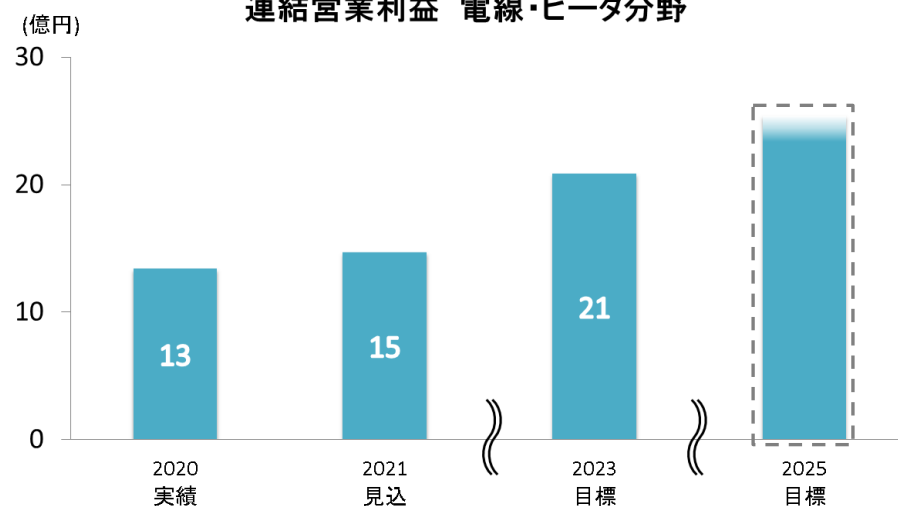
APPENDIX

2025中計 分野別売上高、営業利益

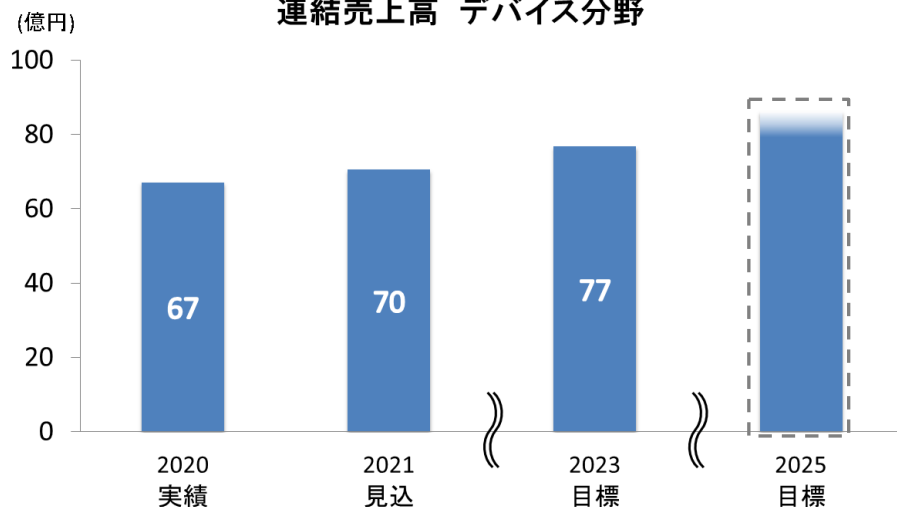
連結売上高 電線・ヒータ分野



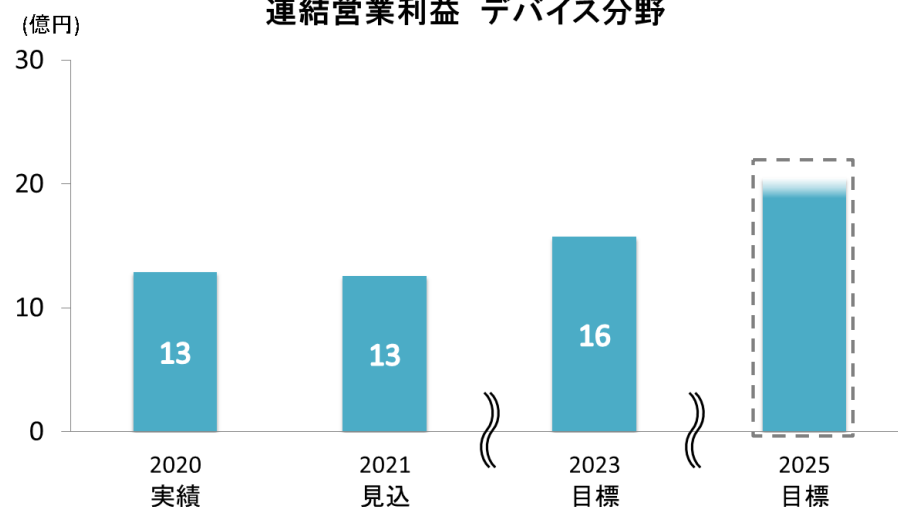
連結営業利益 電線・ヒータ分野



連結売上高 デバイス分野



連結営業利益 デバイス分野



補足) 「その他分野」の 売上高、営業利益は掲載を省いております。

上田事業所 新工場の紹介①

概要

- 2021年1月 完成
- 総投資額 16億円
- 鉄骨造 2階建て
- 延べ床面積 約8,200m²



エントランス



製品展示コーナー



主な施設

- 三層絶縁電線生産エリア
- コンタクトプローブ生産エリア
- 事務エリア



商談スペース



工場内

上田事業所 新工場の紹介②

成長を支える生産拠点として

新工場のコンセプト

本質安全化

歩車分離、安全柵設置 など

高効率生産

効率的レイアウト、物流改善

環境重視

太陽光発電パネル設置
熱交換型換気扇、LED照明

三層絶縁電線生産エリア

サーバー、産業機器、モバイル機器の変圧器向け需要増加に対応した**高効率生産**

コンタクトプローブ生産エリア

需要が高まる半導体パッケージ基板の検査向けに**高品質**の極細径プローブを生産



TOTOKU

東京特殊電線株式会社

■ 注意事項

本資料は、2021年度から2025年度における当社の経営計画をまとめたものです。

本資料上の売上・利益等は直近で当社が入手し得る情報に基づき策定したものであり、将来の事業環境の変化等により変わることがあります。